

# 1 三重県農福連携・障がい者雇用推進チームの設置

(目的)

国、県の部局間で進める障がい者雇用対策の情報共有や連携方法などを協議・検討を行い、効率的・効果的な事業推進を図る。

(構成員)

17名

国 : 三重労働局

県庁: 雇用対策課、障がい福祉課、特別支援教育課、  
フードイノベーション課、農産園芸課、担い手育成課

県出先: 障害者相談支援センター、  
中央農業改良普及センター、農業研究所

(チーム会議の開催回数)

3回/年

(現地支援活動)

随時

## 2 農業分野における障がい者就労の状況

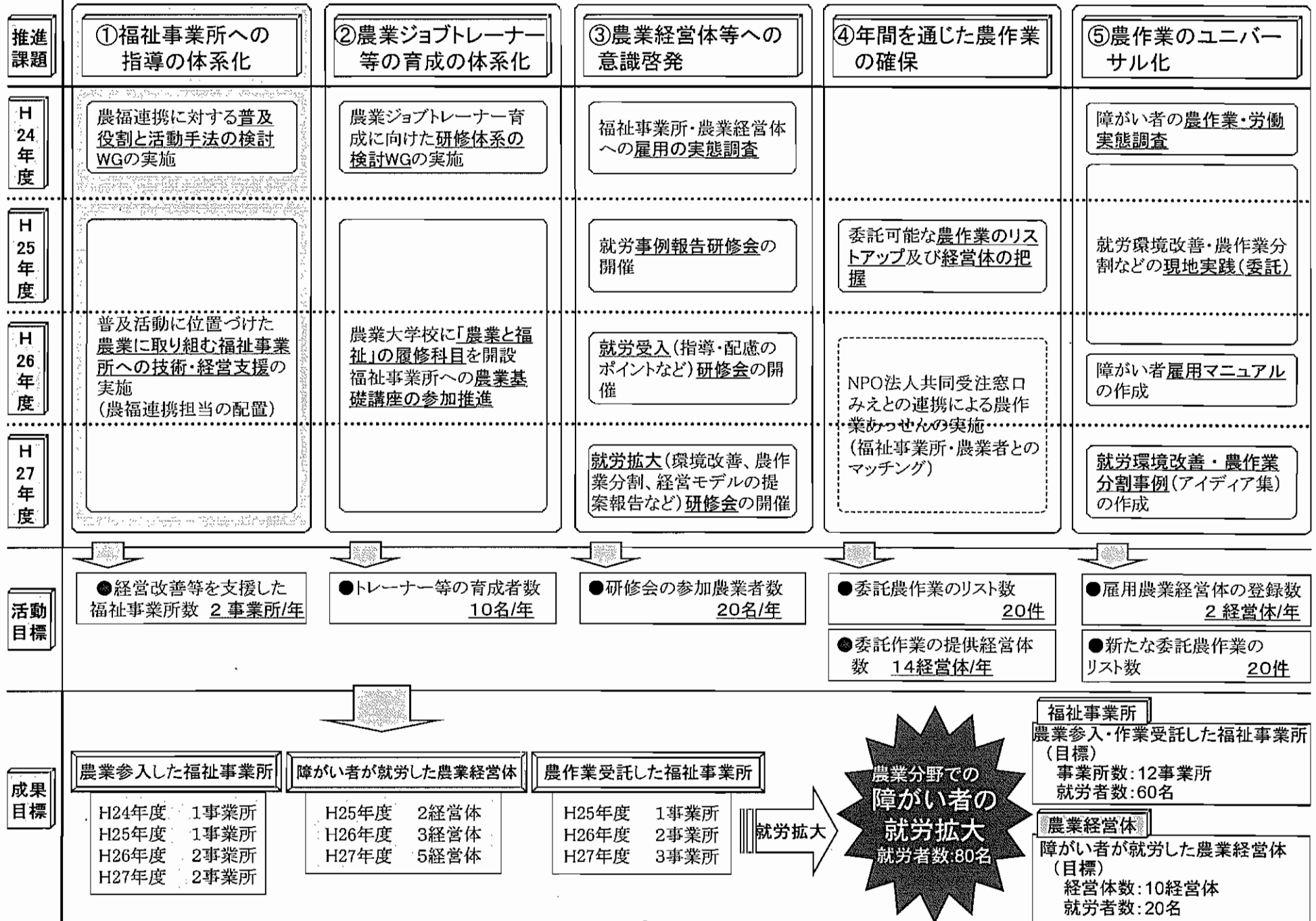
表1 農業経営体における雇用実態

年度	農業経営体数	障がい者雇用人数
H23年度末	11 経営体	19 名
H24年度末	15 経営体	23 名

表2 福祉事業所における農業参入実態

年度	農業形態	福祉事業所数	障がい者就労人数
H23年度末	面積30a以上、 売上50万円以上	14 事業所	179 名 (うち雇用契約 71名)
	上記未満	23 事業所	253 名
	合計	37 事業所	432 名
H24年度末	面積30a以上、 売上50万円以上	17 事業所	263 名 (うち雇用契約 111名)
	上記未満	21 事業所	199 名
	合計	38 事業所	462 名

### 3 農福連携・障がい者雇用の推進課題及び取組概要



## 4 障がい者が担える農作業領域拡大の検討

農業の障がい者雇用創出モデル実践委託事業  
(委託内容)

作業補助機器の開発、器具の使用方法の工夫、農作業の分割、生産資材・包装資材の改良、作業場の改良などを現場で実践して、効果を検証する。

(委託先)

契約件数 5件

わかたけ萩の里(生活介護)、(有)亀井園芸、石井正二、  
はばたき(B型)、(株)やきやまふぁーむ(A型)

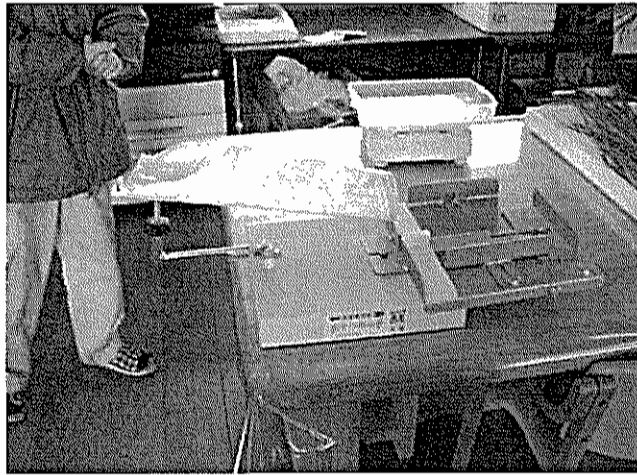
(契約額)

451千円×3件、346千円×2件

(契約期間)

H24.7.2 ~ H25.3.15

# 例1) 作業の分割・作業道具の工夫



1 野菜を出荷袋に入れる器具もあるが、使いにくい……。



2 身近にあるものを活用して、障がい者が作業しやすいよう工夫。



3 クリアーファイルで、野菜を包む。



4 2人で野菜の袋入れを分担

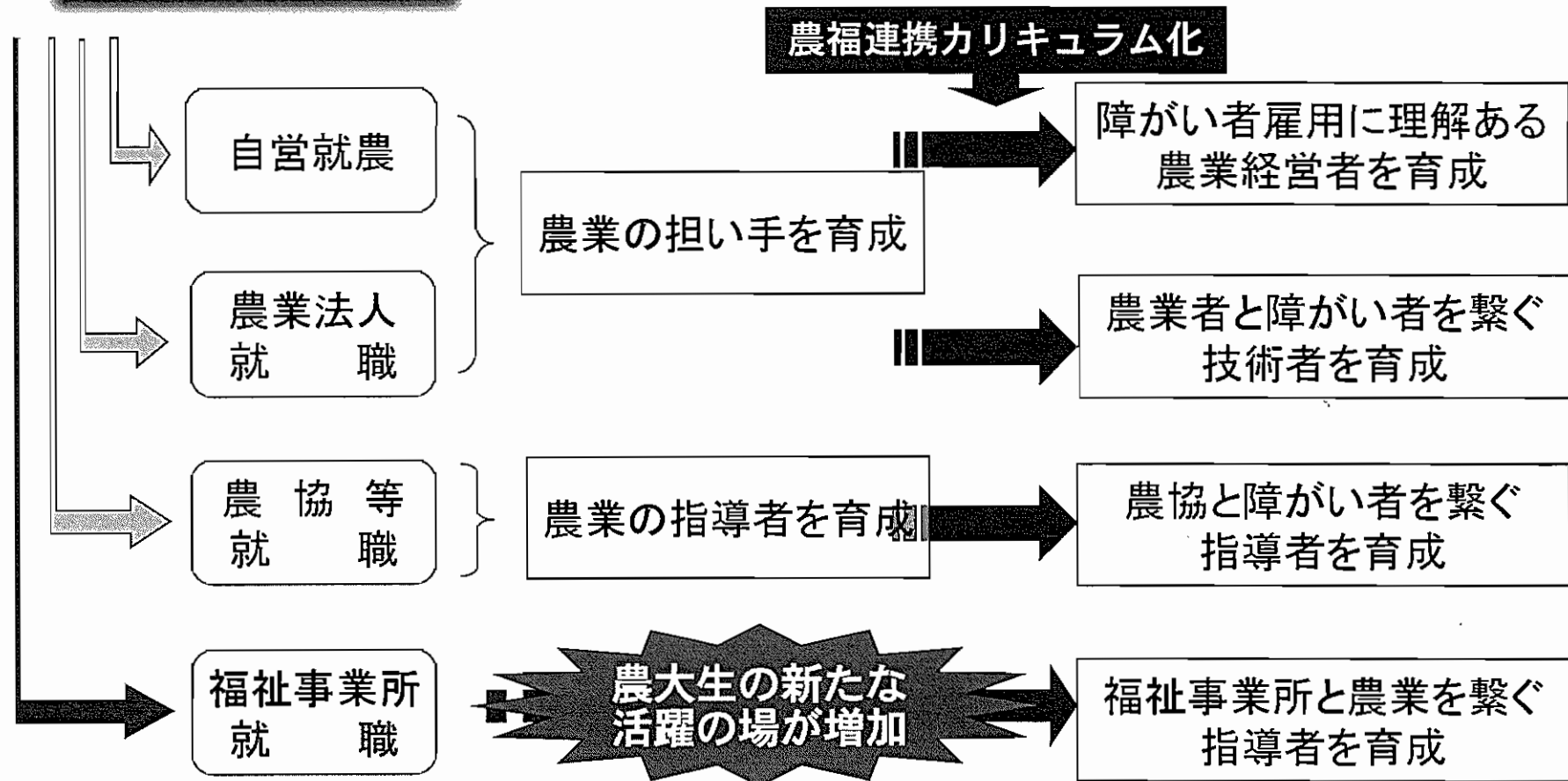


5 できあがり！  
器具より早く作業ができる。

## 5 人材育成の体系化(農業大学校でのカリキュラム化)



- ①農業に関する高度な技術や経営などの実践的な教育により、優れた農業経営者などを養成します
- ②農業指導者等に必要な研修を行います。
- ③農業者と障がい者、福祉事業所と農業を繋ぐ知識を持った人材(技術者、農業ジョブトレーナー)を養成します。



（平成 25 年 4 月～平成 25 年 5 月末）

1 説明会等での広報

(1) 説明会や会議等での説明

- ・税導入への理解の促進を図るため、県民向け説明会の開催や法人・団体（自治会連合会、経済団体等）の会議の場で時間をいただき税の説明を行いました。

計 42 回 2, 201 人

(2) イベント等での周知、チラシの配布

- ・イベント等、人が集まる場でチラシ・啓発物の配布等を行いました。

計 44 回 7, 749 人

2 紙面による広報

(1) 新聞記事

- ・毎日新聞 4月3日 三重県版「なるほドリ 三重」で記事採用

(2) フリーペーパーへの広告掲載

- ・県内市街エリア（桑名市、四日市市、鈴鹿市、津市、松阪市、伊勢市、伊賀市、名張市、および周辺地域）で各戸配布されているフリーペーパー7紙に広告を掲載しました。

ぼろん・よっかいち ai・ベルブ・つうーぴーす・ふぁみんぐ・イセラ・リーガ  
計 48 万部 各紙 5 月号

- ・南勢地域を中心に幼稚園、保育園、病院等で配布されているフリーペーパーに広告を掲載しました。

i してる 2 万 5 千部 5 月号

(3) 広報誌への掲載

- ・県政だよりへ税導入決定や税額について掲載しました。

県政だより 5 月号

(4) 経済団体等への依頼

- ・商工会議所の会報にチラシを同封していただきました。

上野商工会議所 2,000 部

名張商工会議所 1,200 部

(5) チラシ・ポスター

- ・チラシを市町や県庁舎に配架した他、コンビニやショッピングセンターに配架しました。

コンビニエンスストア・ショッピングセンター 約 8,000 部（5 月）

- ・ポスターを市町や県庁舎に配布した他、コンビニに掲示しました。

県公共施設や道の駅 100 部（5 月）

コンビニエンスストア 350 店舗（5 月）

(6) その他

- ・「森林づくりニュース」を発行し、県庁舎や関係団体窓口、県内の協定締結コンビニエンスストアやショッピングセンター等に配架しました。

第 14 号（4 月） 1,450 部

第 15 号（5 月） 2,410 部 計 3,860 部

3 テレビによる広報

- ・東海テレビの番組で取り上げられました。

5 月 2 日放送、夕方ニュース番組内で 10 分間 シリーズ「森は生きている」

4 ラジオによる広報

- ・ラジオ放送で税の周知・広報を行いました。

FM 三重 番組内での告知 3 回

東海ラジオ 番組内での告知 1 回

CBC ラジオ 番組内での告知 1 回

5 その他

- ・ホームページやフェイスブック等を利用して情報提供を行いました。

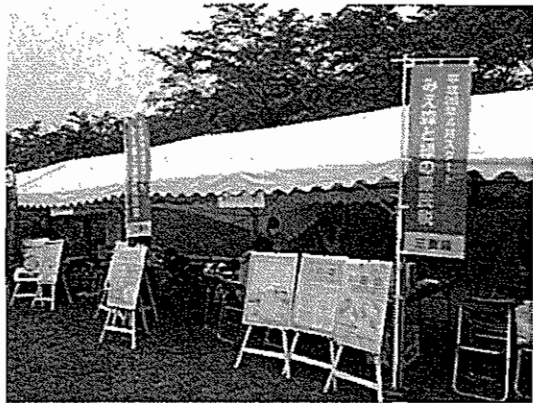
# 「みえ森と緑の県民税」PR の取組状況について

【5月11日(土)みんなで植えよう！森もりフェスタ(三重県民の森)】

◆知事が出席し、関係者と記念植樹



◆「みえ森と緑の県民税」PRブース



【県内のイベントでのPR状況】

◆4月6・7日(土・日) 鈴鹿さくら祭り(鈴鹿市)



◆4月13日(土) 県民の日記念事業(津市)



◆4月27・28日(土・日)  
春のキッズエコフェア2013(四日市市)



◆5月25日(土) くわな軽トラ市(桑名市)



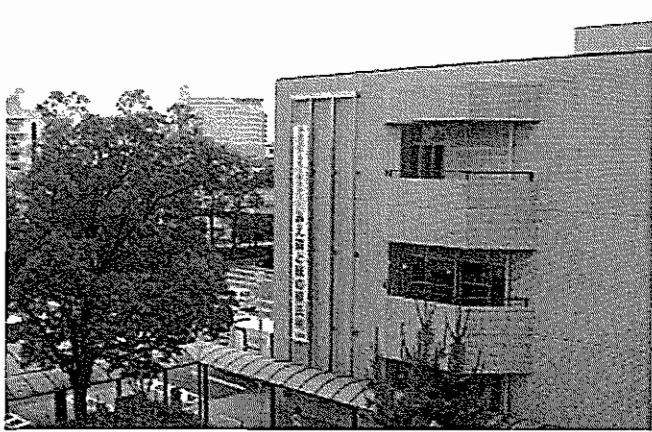


【懸垂幕の掲出状況】

◆四日市庁舎 ↓



◆津庁舎 ↓



◆県庁大駐車場 ↓



◆松阪庁舎 ↓



◆伊賀庁舎 ↓



◆志摩庁舎 ↓



◆伊勢庁舎 ↓



※この他、桑名庁舎・鈴鹿庁舎・尾鷲庁舎  
熊野庁舎でも掲出しています。

三重県では、  
平成26年4月1日から

# みえ森と緑 の県民税

がスタートします。

県民のみなさまから納めて  
いただいた税を活用して、  
災害に強い森林づくりや、  
県民全体で森林を支える  
社会づくりを進めます。

「みえ森と緑の県民税」は、県民税均等割に  
上乗せして納めていただきます。

「みえ森と緑の県民税」の使いみち

## 個人

平成26年度分から課税

- 1月1日現在で県内に住所がある方
- 1月1日現在で県内に家屋数等を有する方

税額(年):1,000円

## 法人

平成26年4月1日以後に開始する  
事業年度分から課税

- 県内に事務所等を有する法人等

税額(年):均等割額の10%相当額

- 土砂や流木を出さない森林づくり
- 水源林等の公有林化
- 山村地域との交流や樹園地など森林とのふれあい促進
- 県産材を活用した公共建築物等の木造・木質化
- 荒廃した里山や竹林の再生
- 小中学校等における森林環境教育の実施
- 街中の緑化(植樹や校庭の芝生化)
- 住民による海岸漂着流木の回収活動の支援 など

「みえ森と緑の県民税」に関する問い合わせ先

※次の方には課税されません。  
■生活保護法の規定による生活扶助を受けている方  
■障がい者、未成年者、寡婦または寡夫で、前年の合計所得金額が125万円以下の方  
■前年の合計所得金額が市町の条例で定める金額以下の方

資本金等の額	年税額
50億円超	80,000円
10億円超、50億円以下	54,000円
1億円超、10億円以下	13,000円
1千万円超、1億円以下	5,000円
上記以外の法人等	2,000円

### 税の仕組みについて

総務部税務・債権管理課  
電話 059-224-2127  
FAX 059-224-4321  
E-mail zeimu@pref.mie.jp

### 税の使いみちについて

農林水産部みどり共生推進課  
電話 059-224-2513  
FAX 059-224-2070  
E-mail midori@pref.mie.jp

みえ森と緑

検索

**【フリーペーパーに掲載した広告】平成 25年 5月**

県内市街エリア（桑名市、四日市市、鈴鹿市、津市、松阪市、伊勢市、伊賀市、名張市、および周辺地域）で各戸配布されているフリーペーパー7紙に掲載した広告

**スゴ**  
**☆**  
**みえ**  
vol.11  
三重県知事  
**鈴木 英敬**



水森さんに観光キャンペーン応援特使第1号(4/3)

「おんなの旅立ち〜伊勢めぐり〜胸の胸のいたみを道々連れに〜」  
皆さんもう聞かれましたか？水森かおりさんが先月リリースした新曲「伊勢めぐり」。先日テレビで歌われていたんですよ。  
失恋した一人の女性が伊勢を旅し、伊勢の自然の美しさに癒され、明日に向かって生きる決意を新たにするストーリー。この歌詞にあるように伊勢の自然の美しさは言葉につくせないほどすばらしく、失恋してなくても（笑）癒されること間違いなし！私が保証します！  
水森かおりさんと言えば、「ご当地ソングの女王」と言われ、10回連続紅白歌合戦に出場されている超メジャーな演歌歌手です。デビューのきっかけが、皆さんご存じの三重県が誇る演歌歌手山川豊さんの「妹分コンテスト」ということらしいんで

**ご当地ソングはスゴいっ!!**



すよ。三重県とのご縁を感じますね。  
その水森さんが、今回「伊勢めぐり」とそのカップリング曲「鳥羽の旅」という三重県を舞台にした歌を発売されたのはとても光栄です。  
そこで、水森さんには、先月からスタートした「三重県観光キャンペーン」実はそれ、ぜんぶ三重なんです！の応援特使第1号に就任いただきました。伊勢めぐり発売記念イベントにお邪魔して羨望を手渡してきたところです。水森さんは、とても気さくでお人柄もすばらしい！もう、かおりちゃんにメロメロです。  
これから、かおりちゃんには、「伊勢めぐり」をガンガン歌っていただき、日本中に三重をPRしてもらいます。歌がヒットすればするほど三重の知名度もグングン上がるのぼり。私たちも一緒に応援していきましょう。まずはカラオケで熱唱よろしくです！  
今年の年末は、紅白歌合戦の「伊勢めぐり」で締めくくり、その後、伊勢神宮へ初詣に出かけるのもいいですね。  
今から年末の話をするのはちょっと気が早いですがね（笑）？

災害に強い森林づくりを県民の力で

# みえ森と緑の県民税

平成26年4月1日からスタート!

納めていただいた税は、土砂や流木を出さない森林づくり、  
荒廃した里山や竹林の再生、森林環境教育や  
県産材を活用した公共施設の木造・木質化  
海岸に漂着した流木の除去や街中の緑化などに  
活用させていただきます。

税の使いみちに関すること  
三重県農林水産部みどり共生推進課 TEL059-224-2513 FAX059-224-2070

税のしくみに関すること  
三重県総務部税務・債権管理課 TEL059-224-2127 FAX059-224-4321

県民税均等割を納める  
個人と法人が対象  
個人 年1,000円  
法人 年2,000〜80,000円  
(県民税均等割額の10%相当額)

みえ森と緑 検索